

介護・福祉に関する研修

6月28日(水)にみどり心育会の皆様を講師に迎え、介護・福祉に関する研修を実施しました。グループにわかれて、1学年は車椅子体験、2学年は高齢者疑似体験を行いました。

車椅子体験では、様々な種類の車椅子を見せていただき、説明を受け、実際に車椅子に乗ったり、押したり、スロープを上り下りしたりさせていただきました。

高齢者疑似体験では、高齢者疑似体験セットを身につけ、友人から手を引いてもらって歩いたり、階段を上り下りしたりしました。

お忙しい中、ご協力いただきましたみどり心育会の皆様、ありがとうございました。

研修を終えての生徒の感想を紹介します。

2年 高齢者疑似体験

○研修の中で印象に残ったこと

- ・高齢者の感覚に合わせたサポーターをつけることで、年をとった身体がこんなに重いんだと思った。
- ・足がかなり重くなり、動きにくくなった。
- ・耳が聞こえづらくなり、会話に時間がかかった。
- ・疲れやすくなった。
- ・視界が見にくかった。
- ・右半身がすごく重く、視覚と聴覚が鈍くなっていた。右の感覚がほとんど無いので、誰かに支えられながらでないと歩けるか不安だった。階段の上り下りも大変そうに見えた。
- ・自分の身体じゃない感覚になった。
- ・足が曲がらなくてしゃがめなかった。
- ・サポートに大切なのは思いやり。
- ・杖に向きがあることを知った。
- ・脳梗塞は時間との戦いで早急に見つけることが大切。
- ・目が見えなくなると、誰かのサポートが必要になってくること。
- ・足腰が曲がらなくなると、席に座ることも難しくなること。
- ・周りに何かあるとき、声がけをしてほしいと思った。
- ・高齢者の生活の不便さと介護の大変さ。



高齢者疑似体験



高齢者疑似体験キットをつけて
階段の上り下り

○今後の高校生活に生かしたいこと

- ・登下校時に利用するふれあいバスで、高齢者の方がいたら、優先席ではなくても譲るようにしたいです。バス以外の場所でも、高齢者の方に親切な対応ができるようになります。
- ・誰かと接するときに、今回身につけた思いやりを持って接したいと思いました。
- ・高齢者の気持ちで体験できたので、とても高齢者の大変さがわかりました。今後は、困っている高齢者の手助けを積極的にしていきたいと思いました。
- ・高齢者の方が大変だと感じたり、助けてほしいと感じたりしたら、体験した時に自分がしてほしいと思ったことをやってあげたいと思いました。

1年 車椅子体験

○研修の中で印象に残ったこと

- ・一つ一つの行動に声をかけること。
- ・車いすに乗っている人が不安にならないように安全にすること。
- ・ブレーキを必ずかけること。
- ・段差は後ろ向きに降りること。
- ・車いすはいろいろな種類があること。
- ・車いすは力がないと押すのが難しい。特にのぼったり、くだったりする所。
- ・講師の方の話を聞いて、興味を持ったこと。
- ・車いすを押すとき、相手の表情を見ておかないといけないこと。



様々な種類の車椅子

○今後の高校生活等に生かしたいこと

- ・今回の研修はとても今後重要なことでした。身近に車いすに乗っている人はいないけれど、もし家族などが車いすに乗ったりしたら、不安や怖い思いがないように声をかけたり、ブレーキを忘れずかけたりしていくことが重要だということがわかりました。これからの生活に役立つ大切な授業になりました。
- ・車いすに乗る、乗らないに関係なく、声がけはした方が良くと思いました。
- ・車いすに乗っている人が困っていたら手助けできる人になりたいです。
- ・人への思いやりを生かしたい、危ないことをしない、周りを見て行動したいと思いました。
- ・車いすを押していると「どのくらいがちょうどいいのかな?」「大丈夫かな?」と心配や気を遣わなくてはいけなくて介護や補助をしている人は大変だなと思いました。でも、学校でも、気を遣う場面はあると思うので、授業をとおして、さらに人に気を遣おうと思いました。それから、表情にも気をつけようと思いました。常に「笑顔で!!」「優しく」接しようと思いました。
- ・相手と会話をする事の大切さが今後も生かしていきたいと思ったことです。今までも気にはかけてはいたけれど、今回の研修で相手に問いかけたり、確認したりする会話が改めて大切だと気づくことができました。
- ・自分のおばあちゃんも車いすを使っているので、準備ができるようになりたいです。たまに、U字歩行器を使って歩いているので、支えていきたいです。



車椅子体験



スロープを様々な種類の車椅子に乗って上り下りしました。